ペッ!!
「あれぇ？ねね何してたんだっけ？」

●REC

「ちょっとお何この衣装～
おっぱいとお股丸見えなんですけどぉ～」

「ねねねちのおっぱい…やべっよだれ垂れてきた」

「エロすぎ…」

「意外と陰毛濃いな」

●REC
「まあいっかぁ
前コメントでねねは子供にしか見えないとか言われたから
ねねの大人なナイスバディをみんなに見せつけちゃお」

●REC
「子どもとか言ってた割には
みんなねねをすごいエッチな目で見てくる」
「そりゃ見るだろ」
「もっとま○こみせろ」
「じゃあ…今日はみんなのために…」

REC
はぁ
はぁ

REC
ぐっ♡
ぎゅんぎゅん

●REC
「このポーズすっごく恥ずかしいよぉみんなぁ」
「でも、ねねの人生で今一番ムラムラしてるかも…」
「俺のち◯こ使わせてやろうか」
「ねねちのぷりぷり乳首…舐めたい…」

REC
ぎゅっ

●REC
「こんなことしてホントに大丈夫？」
「ねねのアイドル人生終わらない？」
「大丈夫！大丈夫！」
「なんならもっと見せていこう」

●REC
「ねねのお股の奥がじんじんしてきたぁ」
「あ~あみんなもっとみてぇ」

REC

REC
ビクッ
ビクッ
ぐちゅっ

●REC
「あっごめんみんあぁ～」
「ねねのだから許して～お願～い」
「ケツ見せろケツ」
「ねねのお尻が見たい！」
「ねね水は許す！」

●REC
「この体勢もしかしてお尻の穴まで見えてる？」
「いやだぁもぉみんな見ないでぇぇ」
「最高ぅふぉぉぉぉ！」
「ねねちのアナル…」

●REC
「もうみんな鼻息荒すぎ～
鼻息が当たってるよ」
「あ～みんなの視線がライブの百倍ぐらい感じる」
「香ばしいま◯この匂い」
「ヒクヒクしてる草」
ヒク
ヒク

REC

REC

●REC
「お股の中にも風が入ってきてすうすうして気持ちいいよみんな」
「全部言葉に出すじゃんw」
「ねねちのま◯こに挿れてぇ」

REC
ビクッ
ビクッ
『舐めまわしてぇ』
「マジいこうかな」
「ま○こもヒクヒクしだしたw」
「見られながら感じるとか意外と淫乱だったんだな」

REC
あ、
あ、
ちゃちゃ

REC
「これいつまでやればいいんだっけ？」
「俺たちが知るわけないだろう」
「ねねちが満足するまでじゃない」
「もっと見たいー」

REC

REC
「やっぱりおっぱい丸出しはなにか変だし
スタッフさんに確認してくるね…」

REC

REC
「みんなにもっとねねのエッチなところ見てほしいから
もうちょっと続けるね♡」
はま♡
はま♡

●REC
「これでねねのま〇こ見やすくなったでしょ」
ヒクヒク

●REC

「これ見てぇねねのま○こ触ってないのに

●もうこんなにトロトロお」

「舐めてぇ…」

「やべっ出そう」

●REC
「ホントにムラムラしすぎて息苦しくなってきちゃった」
「だから俺のち◯こを使わせてやるよ」
「でもねアイドルだし…」

REC
「ま〇こ見せつけておいて今更」
「えっでもま〇こぐらいみんな大丈夫って…」
「あっやべ…」

●REC
「ま◯こ見せてるから
みんなの前でセ⊗クスするのも普通ってことだよ」
はぁ
はぁ
(そんなことよりもうおま◯こぐちゃぐちゃにしてほしい
きゅんきゅん

REC
ぎゅっ
ばっ

●REC
「ぺちゃくちゃしゃべっとらんで
おなごを気持ちよくさせてやるのが男ってもんじゃろが」
トの
三六

●REC
「おじいさんの手太くてゴツゴツしてて気持ちいい」
「そうじゃろ数多のおなごを堕としてきたんじゃ」
「おいおっさん横入りしてんじゃねぇ」

REC
ざぁ
ざぁ
しゅが
しゅが
しゅが

●REC
「この手前のざらざらのところを擦るんじゃぁ」
じぃ~

REC
ぐぐ
ぐぐ

●REC
「おうおう本気汁が溢れてくるわい」
「おじいさん上手う…」
「ねね…好きになっちゃいそう…」
「ねねちをおっさんに寝取られてる気分…」
「俺のほうがうまいけどな」

●REC
「そろそろ仕上げかのお」
ぎゅり
ぎゅ
「もうだめっ立ってられない…」
[redacted]

REC

REC
ビクッ
ビクッ

ぎっ
REC
「もう我慢できねぇおっさんどけっ」
「先にヤらせろ」
「抜けがけすんなよ」

●REC
「もうみんな順番にさせてあげるからぁ」
（さっきのおじいさん気持ちよかったなぁ
おちんちんも大きいのかなぁ…）
きゅんきゅん

REC
ん、

『俺からヤらしてもらうぜ』
『どうだねねち気持ちいいだろ』
『う、うん気持ちいいよ』

●REC
『違うだろっ
もっと色っぽく言えよ』
『色っぽく…笑』
[redacted]
ちがぁぁぁ
ちがぁぁぁ

●REC
『あんあんヨガらしてやるよッ』
んっ
（必死に腰振ってかわいい

「やべっもう出そう…」
「ねねちも気持ちいい良くて
イキそうだろ？」
「うん、ねねもイキそうだから一緒にイこ？」

REC
女の子
女の子

REC
うぅ…
うぅ
[redacted]
ぐすんぐすん

REC
「はぁはぁ…」
「早漏はどいてろ次は俺だ」

●REC
（さっきの子より硬いかも）
「自分が気持ちよかったら女がどうとか関係ないんだよ」
[redacted]

REC
『やべぇねねちの膣とろとろで気持ちよすぎる」

REC
（膣でビクビクすごいてる…
ねねのま〇こそんなに気持ちよかったんだ）
ビクッ

REC
『つ、次は僕ね』
『もう…出そう…』

REC
[redacted]
どぷ

「そろそろわしのち○こが欲しくなってきたんじゃないか？」

（えっこんなに大きいの…）

しかもおじいさんなのに男の匂いがすごい…

頭クラクラしちゃう…）

●REC
「わしのち〇こが待ち遠しくて舐めてきよるわい」
（ちょっとしょっぱいけど…おいしい…
早くねねの膣に挿れてほしい…）
しゅ
ヒク
ヒク

REC
「それじゃあ…よっこらしょっと」
すぅ
すぅ

ずんっ
REC

●REC
（あ～すごい…奥まで届いてるのがわかる）
（挿れただけなのにどうしてこんなに気持ちいいの…）
あ～
すごい
[redacted]

REC
ぎゅっ
[redacted]

●REC
『どうだいねねちゃん気持ちいいじゃろう？』
『はい…気持ち…いいです…
もっと…ぐちゃぐちゃにしてください』

REC
あ…
「うっ…うっもう限界…」
（こんなに男の人に囲まれて
セ〇クスだなんて…変態みたい♡

REC
あ゛ん
あ゛ん

（おっきいち○ぽでずぼずぼされて
ねねのおま○こばかになっちゃう…）
（もう…だめ…
なにも考えられない…）

●REC
「そろそろイキそうじゃ」
「ねねの…ねねの膣に出して…
おじいさんのつよつよ精子で孕ませて」
ビクッ
ビクッ

REC
ドクドクドクドクドクドク
ビクッ
ビクッ

REC

●REC
（こんなの…もう戻れないかも…）
ぁぁぁぁ～
[redacted]
ぉぉぉ～

REC

REC